

# 土壤貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



★:施設の位置



## 【凡例】

- ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量
- ★ (blue) : 空間線量率(作業環境)
- ★ (blue) : 表面汚染密度(設備)
- (red) : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- (blue) : 放流先河川の放射能濃度
- ★ (purple) : 空気中の放射能濃度
- ★ (green) : 表面汚染密度(重機)
- ◆ (red) : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★ (red) : 粉じん濃度
- ★ (orange) : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- (red) : 敷地境界線

# 土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2021年3月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		240
	2021/3/9 (稼働後)		95
上流②	2020/2/24 (稼働前)		110
	2021/3/9 (稼働後)		64
下流①	2018/7/11 (稼働前)		32
	2021/3/9 (稼働後)		150
下流②	2020/2/24 (稼働前)		42
	2021/3/9 (稼働後)		26
下流③	2021/2/23 (稼働前)		42
	2021/3/8 (稼働後)		23

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		8.1
	2021/3/9 (稼働後)		9.4
上流②	2020/2/24 (稼働前)		25
	2021/3/9 (稼働後)		13
下流①	2018/7/11 (稼働前)		9.5
	2021/3/9 (稼働後)		6.9
下流②	2020/2/24 (稼働前)		23
	2021/3/9 (稼働後)		6.8
下流③	2021/2/23 (稼働前)		9.6
	2021/3/8 (稼働後)		10

## ◆地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
集排水設備①	2018/7/11 (稼働前)		ND
	2021/3/9 (稼働後)		ND
集排水設備②	2020/3/5 (稼働前)		ND
	2021/3/9 (稼働後)		ND
集排水設備③	2021/3/9 (稼働前)		ND
	- (稼働後) ※		-

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※稼働後1か月以内に分析予定。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2021/3/9	7.9	2.3	29	9

pH基準：5.8~8.6, BOD基準：60mg/L, COD基準：90mg/L, SS基準：60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値		
2021/3/1 ~2021/3/30	122	0.1	4.9	ND	3807

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.58Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定地点	測定項目		浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	測定日		
沈砂池①	2021/3/8		17
沈砂池②	2021/3/9		27
沈砂池③	2021/3/8		31

SS基準：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	
	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)	ND	ND
2021/3/8 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90<math>\leq 1</math>

## ★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
	測定日		
貯蔵エリア(南)	2021/3/9 (稼働後)		0.5
浸出水調整設備	2021/3/9 (稼働後)		ND
浸出水処理設備	2021/3/9 (稼働後)		ND
処理土壌中継ヤード	2021/3/9 (稼働後)		1.1

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定項目		空間線量率 ( $\mu$ Sv/h)
	測定日		
貯蔵エリア(南)	2021/3/10 (稼働後)		0.26
浸出水調整設備	2021/3/10 (稼働後)		0.26
浸出水処理設備	2021/3/10 (稼働後)		0.11
処理土壌中継ヤード	2021/3/10 (稼働後)		0.24

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
	測定日			
貯蔵エリア(南)	2021/3/10 (稼働後)		ND	ND
浸出水調整設備	2021/3/10 (稼働後)		ND	ND
浸出水処理設備	2021/3/10 (稼働後)		ND	ND
処理土壌中継ヤード	2021/3/10 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0  $\times 10^{-2}$  Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：1.0  $\times 10^{-2}$  Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2 $\times 10^{-3}$ +セシウム137の濃度/3 $\times 10^{-3}$  $\leq 1$

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

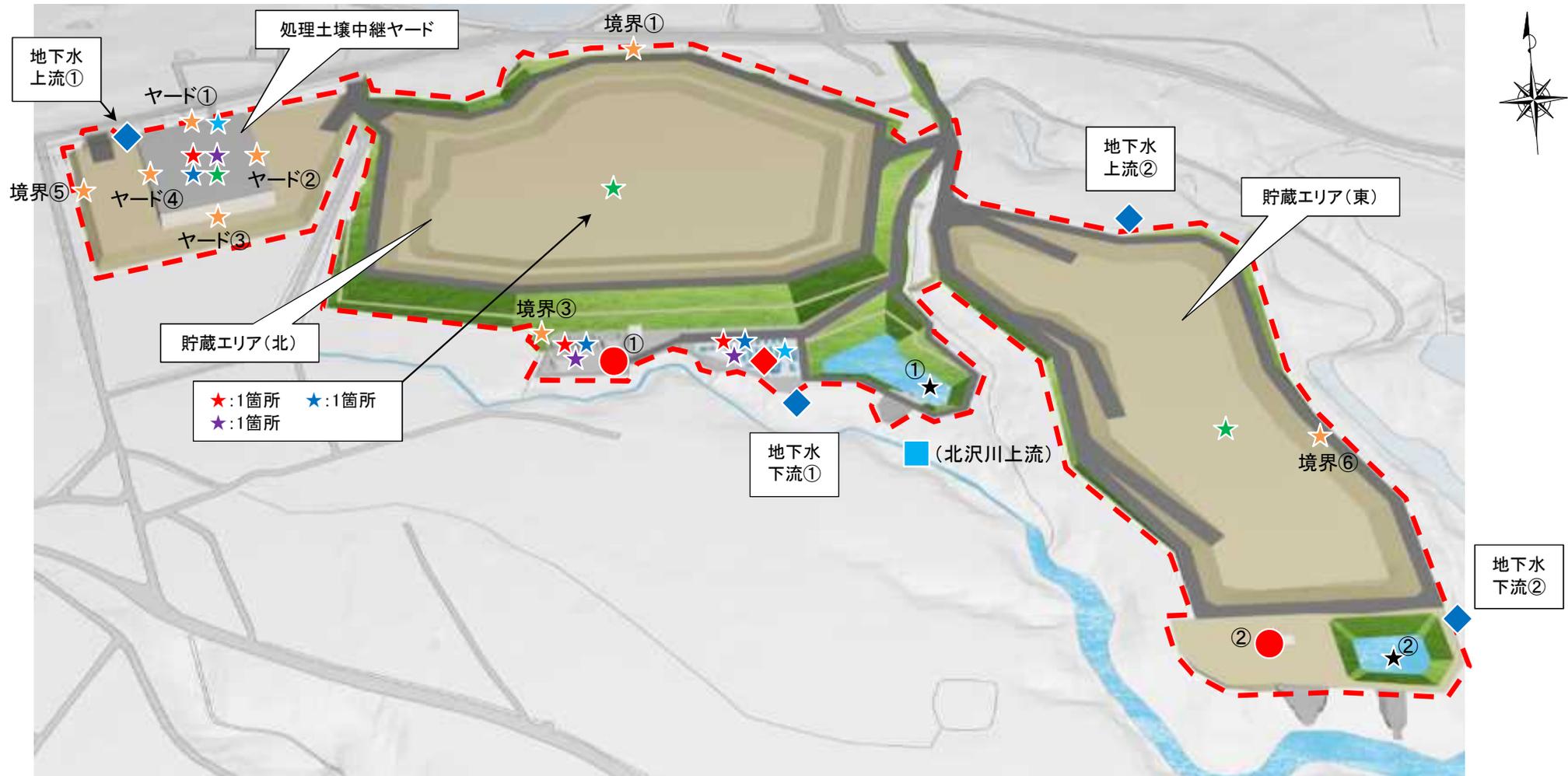
測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )			
	測定日					
貯蔵施設境界	①	2021/3/9 (稼働後)	ND			
		2021/3/9 (稼働後)	ND			
		2021/3/9 (稼働後)	ND			
		2021/3/9 (稼働後)	ND			
		2021/3/9 (稼働後)	ND			
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	2021/3/9 (稼働後)	ND		
処理土壌中継ヤード	壁	①	2021/3/9 (稼働後)	ND		
		②	2021/3/9 (稼働後)	ND		
		③	2021/3/9 (稼働後)	ND		
		④	2021/3/9 (稼働後)	ND		
設備	ペルコン出口	2021/3/9 (稼働後)	ND			
		重機	タイヤヤシヨベル①	2021/3/9 (稼働後)	ND	
重機	タイヤヤシヨベル②	2021/3/9 (稼働後)	ND			
		貯蔵エリア(北)	重機	バックホウ①	2021/3/9 (稼働後)	ND
バックホウ②	ローラー①	2021/3/9 (稼働後)	ND			
		2021/3/9 (稼働後)	ND			
		2021/3/9 (稼働後)	ND			
		2021/3/9 (稼働後)	ND			
バックホウ④	バックホウ⑤	2021/3/9 (稼働後)	ND			
		貯蔵エリア(南)	重機	ブルドーザー①	2021/3/9 (稼働後)	ND
		バックホウ②	2021/3/9 (稼働後)	ND		
バックホウ⑤	2021/3/9 (稼働後)	ND				

表面汚染密度検出下限値：0.40 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定) 2020年8月～2021年2月



★: 施設の位置

【凡例】

- ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- ◆ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★ : 粉じん濃度
- ★ : 空間線量率(作業環境)
- ★ : 空気中の放射能濃度
- ★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- ★ : 表面汚染密度(設備)
- ★ : 表面汚染密度(重機)
- 



# 土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2021年2月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		240
	2021/2/2 (稼働後)		69
上流②	2020/2/24 (稼働前)		110
	2021/2/2 (稼働後)		55
下流①	2018/7/11 (稼働前)		32
	2021/2/2 (稼働後)		160
下流②	2020/2/24 (稼働前)		42
	2021/2/2 (稼働後)		48

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		8.1
	2021/2/2 (稼働後)		12
上流②	2020/2/24 (稼働前)		25
	2021/2/2 (稼働後)		15
下流①	2018/7/11 (稼働前)		9.5
	2021/2/2 (稼働後)		6.9
下流②	2020/2/24 (稼働前)		23
	2021/2/2 (稼働後)		10

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
集排水設備①	2018/7/11 (稼働前)		ND
	2021/2/1 (稼働後)		ND
集排水設備②	2020/3/5 (稼働前)		ND
	2021/2/2 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	2021/2/2		7.7	2	54

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2021/2/5 ~2021/2/18	41	0.1	4.5	ND	1296

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値 (6.5Bq/L) 未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質質量

測定地点	測定項目		浮遊物質質量 (SS) (mg/L)
	測定日		
沈砂池①	2021/2/1		14
沈砂池②※	2021/2/19		62

SS基準: 60mg/L

浮遊物質質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)			ND	ND
2021/2/1 (稼働後)			ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m³)
	測定日		
貯蔵エリア(北)	2021/2/2 (稼働後)		ND
浸出水調整設備	2021/2/2 (稼働後)		ND
浸出水処理設備	2021/2/2 (稼働後)		ND
処理土壌中継ヤード	2021/2/2 (稼働後)		0.5

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定項目		空間線量率 (µSv/h)
	測定日		
貯蔵エリア(北)	2021/2/3 (稼働後)		0.36
浸出水調整設備	2021/2/3 (稼働後)		0.27
浸出水処理設備	2021/2/3 (稼働後)		0.11
処理土壌中継ヤード	2021/2/3 (稼働後)		0.23

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
	測定日			
貯蔵エリア(北)	2021/2/3 (稼働後)		ND	ND
浸出水調整設備	2021/2/3 (稼働後)		ND	ND
浸出水処理設備	2021/2/3 (稼働後)		ND	ND
処理土壌中継ヤード	2021/2/3 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134:  $1.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³, セシウム137:  $1.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ $2 \times 10^{-3}$  + セシウム137の濃度/ $3 \times 10^{-3}$  ≤ 1

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm²)		
	測定日				
貯蔵施設境界	①	2021/2/2 (稼働後)	ND		
	③	2021/2/2 (稼働後)	ND		
	⑤	2021/2/2 (稼働後)	ND		
	⑥	2021/2/2 (稼働後)	ND		
	⑥	2021/2/2 (稼働後)	ND		
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	2021/2/2 (稼働後)	ND	
処理土壌中継ヤード	壁	①	2021/2/2 (稼働後)	ND	
		②	2021/2/2 (稼働後)	ND	
		③	2021/2/2 (稼働後)	ND	
		④	2021/2/2 (稼働後)	ND	
	設備	重機	ベルコン出口	2021/2/2 (稼働後)	ND
		重機	タイヤショベル①	2021/2/2 (稼働後)	ND
			タイヤショベル②	2021/2/2 (稼働後)	ND
		重機	バックホウ①	2021/2/2 (稼働後)	ND
			ローラー①	2021/2/2 (稼働後)	ND
			ブルドーザー①	2021/2/2 (稼働後)	ND
バックホウ②	2021/2/2 (稼働後)		ND		
貯蔵エリア(北)	重機	ブルドーザー②	2021/2/2 (稼働後)	ND	
		バックホウ④	2021/2/2 (稼働後)	ND	
		バックホウ⑤	2021/2/2 (稼働後)	ND	

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2021年1月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		240
	2021/1/12 (稼働後)		66
上流②	2020/2/24 (稼働前)		110
	2021/1/12 (稼働後)		42
下流①	2018/7/11 (稼働前)		32
	2021/1/12 (稼働後)		99
下流②	2020/2/24 (稼働前)		42
	2021/1/12 (稼働後)		9.0

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		8.1
	2021/1/12 (稼働後)		9.7
上流②	2020/2/24 (稼働前)		25
	2021/1/12 (稼働後)		12
下流①	2018/7/11 (稼働前)		9.5
	2021/1/12 (稼働後)		7.0
下流②	2020/2/24 (稼働前)		23
	2021/1/12 (稼働後)		9.9

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
集排水設備①	2018/7/11 (稼働前)		ND
	2021/1/11 (稼働後)		ND
集排水設備②	2020/3/5 (稼働前)		ND
	2021/1/12 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	2021/1/12		7.2	1.8	53

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2021/1/13 ~2021/1/14	18	0.2	4.2	ND	556

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定地点	測定項目		浮遊物質 (SS) (mg/L)
	測定日		
沈砂池①	2021/1/11		14

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

沈砂池②: 放流実績はないため測定なし。

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)			ND	ND
2021/1/11 (稼働後)			ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m³)
	測定日		
貯蔵エリア(北)	2021/1/12 (稼働後)		ND
浸出水調整設備	2021/1/12 (稼働後)		ND
浸出水処理設備	2021/1/12 (稼働後)		ND
処理土壌中継ヤード	2021/1/12 (稼働後)		0.1

定量下限値: 0.1mg/m³, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定項目		空間線量率 (µSv/h)
	測定日		
貯蔵エリア(北)	2021/1/14 (稼働後)		0.30
浸出水調整設備	2021/1/14 (稼働後)		0.27
浸出水処理設備	2021/1/14 (稼働後)		0.11
処理土壌中継ヤード	2021/1/14 (稼働後)		0.23

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
	測定日			
貯蔵エリア(北)	2021/1/14 (稼働後)		ND	ND
浸出水調整設備	2021/1/14 (稼働後)		ND	ND
浸出水処理設備	2021/1/14 (稼働後)		ND	ND
処理土壌中継ヤード	2021/1/14 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134:  $1.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³, セシウム137:  $1.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度  $\times 2 \times 10^{-3}$  + セシウム137の濃度  $\times 3 \times 10^{-3} \leq 1$

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm²)	
	測定日			
貯蔵施設境界	①	2021/1/11 (稼働後)	ND	
	③	2021/1/11 (稼働後)	ND	
	⑤	2021/1/11 (稼働後)	ND	
	⑥	2021/1/11 (稼働後)	ND	
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	2021/1/11 (稼働後)	ND
処理土壌中継ヤード	壁	①	2021/1/11 (稼働後)	ND
		②	2021/1/11 (稼働後)	ND
		③	2021/1/11 (稼働後)	ND
		④	2021/1/11 (稼働後)	ND
貯蔵エリア(北)	設備	バルコニー出口	2021/1/11 (稼働後)	ND
		重機	タイヤショベル①	2021/1/11 (稼働後)
		タイヤショベル②	2021/1/11 (稼働後)	ND
	重機	バックホウ①	2021/1/11 (稼働後)	ND
		ローラー①	2021/1/11 (稼働後)	ND
		ブルドーザー①	2021/1/11 (稼働後)	ND
		バックホウ②	2021/1/11 (稼働後)	ND
ブルドーザー②		2021/1/11 (稼働後)	ND	
	バックホウ④	2021/1/11 (稼働後)	ND	
	バックホウ⑤	2021/1/11 (稼働後)	ND	

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年12月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		240
	2020/12/8 (稼働後)		69
上流②	2020/2/24 (稼働前)		110
	2020/12/8 (稼働後)		50
下流①	2018/7/11 (稼働前)		32
	2020/12/8 (稼働後)		120
下流②	2020/2/24 (稼働前)		42
	2020/12/8 (稼働後)		23

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		8.1
	2020/12/8 (稼働後)		11
上流②	2020/2/24 (稼働前)		25
	2020/12/8 (稼働後)		14
下流①	2018/7/11 (稼働前)		9.5
	2020/12/8 (稼働後)		7.0
下流②	2020/2/24 (稼働前)		23
	2020/12/8 (稼働後)		8.0

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
集排水設備①	2018/7/11 (稼働前)		ND
	2020/12/7 (稼働後)		ND
集排水設備②	2020/3/5 (稼働前)		ND
	2020/12/8 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	2020/12/7		7.7	2.5	58

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値		
2020/12/4 ~2020/12/24	22	0.0	4.9	ND	745

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定地点	測定項目		浮遊物質 (SS) (mg/L)
	測定日		
沈砂池①	2020/12/8		18

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

※沈砂池②: 放流実績はないため測定なし。

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)			ND	ND
2020/12/7 (稼働後)			ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
	測定日		
貯蔵エリア(北)	2020/12/8 (稼働後)		1.2
浸出水調整設備	2020/12/8 (稼働後)		0.2
浸出水処理設備	2020/12/8 (稼働後)		0.1
処理土壌中継ヤード	2020/12/8 (稼働後)		1.1

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
貯蔵エリア(北)	2020/12/3 (稼働後)		0.32
浸出水調整設備	2020/12/3 (稼働後)		0.27
浸出水処理設備	2020/12/3 (稼働後)		0.11
処理土壌中継ヤード	2020/12/3 (稼働後)		0.24

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
	測定日			
貯蔵エリア(北)	2020/12/3 (稼働後)		ND	ND
浸出水調整設備	2020/12/3 (稼働後)		ND	ND
浸出水処理設備	2020/12/3 (稼働後)		ND	ND
処理土壌中継ヤード	2020/12/3 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>, セシウム137: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
	測定日			
貯蔵施設境界	①	2020/12/1 (稼働後)	ND	
	③	2020/12/1 (稼働後)	ND	
	⑤	2020/12/1 (稼働後)	ND	
	⑥	2020/12/1 (稼働後)	ND	
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	2020/12/1 (稼働後)	ND
	処理土壌中継ヤード	壁	①	2020/12/1 (稼働後)
②			2020/12/1 (稼働後)	ND
③			2020/12/1 (稼働後)	ND
④			2020/12/1 (稼働後)	ND
貯蔵エリア(北)	重機	バックホウ①	2020/12/1 (稼働後)	ND
		ローラー①	2020/12/1 (稼働後)	ND
		ブルドーザー①	2020/12/1 (稼働後)	ND
		バックホウ②	2020/12/1 (稼働後)	ND
		ブルドーザー②	2020/12/1 (稼働後)	ND
貯蔵エリア(東)	重機	バックホウ④	2020/12/1 (稼働後)	ND
		バックホウ⑤	2020/12/1 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>

# 土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年11月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		240
	2020/11/11 (稼働後)		110
上流②	2020/2/24 (稼働前)		110
	2020/11/10 (稼働後)		61
下流①	2018/7/11 (稼働前)		32
	2020/11/9 (稼働後)		150
下流②	2020/2/24 (稼働前)		42
	2020/11/10 (稼働後)		20

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		8.1
	2020/11/11 (稼働後)		10
上流②	2020/2/24 (稼働前)		25
	2020/11/10 (稼働後)		12
下流①	2018/7/11 (稼働前)		9.5
	2020/11/9 (稼働後)		6.7
下流②	2020/2/24 (稼働前)		23
	2020/11/10 (稼働後)		5.3

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
集排水設備①	2018/7/11 (稼働前)		ND
	2020/11/10 (稼働後)		ND
集排水設備②	2020/3/5 (稼働前)		ND
	2020/11/10 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	2020/11/9		7.8	3.7	52

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値		
2020/11/7 ~2020/11/27	26	0.1	4.9	ND	832

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定地点	測定項目		浮遊物質 (SS) (mg/L)
	測定日		
沈砂池①	2020/11/9		9
沈砂池②	2020/11/9		59

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)			ND	ND
2020/11/9 (稼働後)			ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
	測定日		
貯蔵エリア(北)	2020/11/9 (稼働後)		0.5
浸出水調整設備	2020/11/9 (稼働後)		ND
浸出水処理設備	2020/11/9 (稼働後)		ND
処理土壌中継ヤード	2020/11/9 (稼働後)		1.4

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
貯蔵エリア(北)	2020/11/4 (稼働後)		0.30
浸出水調整設備	2020/11/4 (稼働後)		0.26
浸出水処理設備	2020/11/4 (稼働後)		0.11
処理土壌中継ヤード	2020/11/4 (稼働後)		0.25

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
	測定日			
貯蔵エリア(北)	2020/11/4 (稼働後)		ND	ND
浸出水調整設備	2020/11/4 (稼働後)		ND	ND
浸出水処理設備	2020/11/4 (稼働後)		ND	ND
処理土壌中継ヤード	2020/11/4 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>, セシウム137: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )			
	測定日					
貯蔵施設境界	①	2020/11/3 (稼働後)	ND			
	③	2020/11/3 (稼働後)	ND			
	⑤	2020/11/3 (稼働後)	ND			
	⑥	2020/11/3 (稼働後)	ND			
	浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	2020/11/3 (稼働後)	ND	
	処理土壌中継ヤード	壁	①	2020/11/3 (稼働後)	ND	
②			2020/11/3 (稼働後)	ND		
③			2020/11/3 (稼働後)	ND		
④			2020/11/3 (稼働後)	ND		
設備		重機	ベルコン出口	2020/11/3 (稼働後)	ND	
		重機	タイヤショベル①	2020/11/3 (稼働後)	ND	
		重機	タイヤショベル②	2020/11/3 (稼働後)	ND	
		貯蔵エリア(北)	重機	バックホウ①	2020/11/3 (稼働後)	ND
				ローラー①	2020/11/3 (稼働後)	ND
				ブルドーザー①	2020/11/3 (稼働後)	ND
バックホウ②	2020/11/3 (稼働後)			ND		
ブルドーザー②	2020/11/3 (稼働後)			ND		
バックホウ④	2020/11/3 (稼働後)	ND				
バックホウ⑤	2020/11/3 (稼働後)	ND				

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>

# 土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年10月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		240
	2020/10/13 (稼働後)		130
上流②	2020/2/24 (稼働前)		110
	2020/10/14 (稼働後)		65
下流①	2018/7/11 (稼働前)		32
	2020/10/13 (稼働後)		120
下流②	2020/2/24 (稼働前)		42
	2020/10/14 (稼働後)		31

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		8.1
	2020/10/13 (稼働後)		8.3
上流②	2020/2/24 (稼働前)		25
	2020/10/14 (稼働後)		9.9
下流①	2018/7/11 (稼働前)		9.5
	2020/10/13 (稼働後)		7.0
下流②	2020/2/24 (稼働前)		23
	2020/10/14 (稼働後)		9.3

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
集排水設備①	2018/7/11 (稼働前)		ND
	2020/10/13 (稼働後)		ND
集排水設備②	2020/3/5 (稼働前)		ND
	2020/10/14 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	2020/10/13		7.5	3.7	35

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/10/1 ~2020/10/30	101	0.0	4.7	ND	3127

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定地点	測定項目		浮遊物質 (SS) (mg/L)
	測定日		
沈砂池①	2020/10/13		15
沈砂池②	2020/10/14		7

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	2018/7/11 (稼働前)		ND
2020/10/13 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m³)
	測定日		
貯蔵エリア(北)	2020/10/13 (稼働後)		0.2
浸出水調整設備	2020/10/13 (稼働後)		ND
浸出水処理設備	2020/10/13 (稼働後)		ND
処理土壌中継ヤード	2020/10/13 (稼働後)		0.8

定量下限値: 0.1mg/m³, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
貯蔵エリア(北)	2020/10/6 (稼働後)		0.44
浸出水調整設備	2020/10/6 (稼働後)		0.28
浸出水処理設備	2020/10/6 (稼働後)		0.10
処理土壌中継ヤード	2020/10/6 (稼働後)		0.25

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
	測定日			
貯蔵エリア(北)	2020/10/6 (稼働後)		ND	ND
浸出水調整設備	2020/10/6 (稼働後)		ND	ND
浸出水処理設備	2020/10/6 (稼働後)		ND	ND
処理土壌中継ヤード	2020/10/6 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm³, セシウム137: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm²)		
	測定日				
貯蔵施設境界	①	2020/10/13 (稼働後)	ND		
	③	2020/10/13 (稼働後)	ND		
	⑤	2020/10/13 (稼働後)	ND		
	⑥	2020/10/13 (稼働後)	ND		
	⑥	2020/10/13 (稼働後)	ND		
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	2020/10/13 (稼働後)	ND	
処理土壌中継ヤード	壁	①	2020/10/13 (稼働後)	ND	
		②	2020/10/13 (稼働後)	ND	
		③	2020/10/13 (稼働後)	ND	
		④	2020/10/13 (稼働後)	ND	
	設備	バルコン出口	2020/10/13 (稼働後)	ND	
		重機	タイヤショベル①	2020/10/13 (稼働後)	ND
			タイヤショベル②	2020/10/13 (稼働後)	ND
		貯蔵エリア(北)	重機	バックホウ①	2020/10/13 (稼働後)
ローラー①	2020/10/13 (稼働後)			ND	
ブルドーザー①	2020/10/13 (稼働後)			ND	
バックホウ②	2020/10/13 (稼働後)			ND	
ブルドーザー②	2020/10/13 (稼働後)			ND	
貯蔵エリア(東)	重機	バックホウ③	2020/10/13 (稼働後)	ND	
		バックホウ④	2020/10/13 (稼働後)	ND	
		バックホウ⑤	2020/10/13 (稼働後)	ND	

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年9月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		240
	2020/9/8 (稼働後)		110
上流②	2020/2/24 (稼働前)		110
	2020/9/9 (稼働後)		93
下流①	2018/7/11 (稼働前)		32
	2020/9/8 (稼働後)		110
下流②	2020/2/24 (稼働前)		42
	2020/9/9 (稼働後)		19

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		8.1
	2020/9/8 (稼働後)		10
上流②	2020/2/24 (稼働前)		25
	2020/9/9 (稼働後)		12
下流①	2018/7/11 (稼働前)		9.5
	2020/9/8 (稼働後)		7.2
下流②	2020/2/24 (稼働前)		23
	2020/9/9 (稼働後)		5.9

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
集排水設備①	2018/7/11 (稼働前)		ND
	2020/9/8 (稼働後)		ND
集排水設備②	2020/3/5 (稼働前)		ND
	2020/9/8 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	2020/9/7		7.7	2.8	37

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/9/1 ~2020/9/26	104	0.2	4.9	ND	3294

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定地点	測定項目		浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	測定日		
沈砂池①	2020/9/8		5
沈砂池②	2020/9/9		11

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	
	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)	ND	ND
2020/9/7 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m³)
	測定日		
貯蔵エリア(北)	2020/9/8 (稼働後)		0.3
浸出水調整設備	2020/9/8 (稼働後)		0.1
浸出水処理設備	2020/9/8 (稼働後)		0.1
処理土壌中継ヤード	2020/9/8 (稼働後)		3.5

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定項目		空間線量率 (µSv/h)
	測定日		
貯蔵エリア(北)	2020/9/3 (稼働後)		0.41
浸出水調整設備	2020/9/3 (稼働後)		0.27
浸出水処理設備	2020/9/3 (稼働後)		0.10
処理土壌中継ヤード	2020/9/3 (稼働後)		0.25

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
	測定日			
貯蔵エリア(北)	2020/9/3 (稼働後)		ND	ND
浸出水調整設備	2020/9/3 (稼働後)		ND	ND
浸出水処理設備	2020/9/3 (稼働後)		ND	ND
処理土壌中継ヤード	2020/9/3 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134:  $1.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³, セシウム137:  $1.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm²)		
	測定日				
貯蔵施設境界	①	2020/9/8 (稼働後)	ND		
	③	2020/9/8 (稼働後)	ND		
	⑤	2020/9/8 (稼働後)	ND		
	⑥	2020/9/8 (稼働後)	ND		
	浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	2020/9/8 (稼働後)	ND
	処理土壌中継ヤード	壁	①	2020/9/8 (稼働後)	ND
②			2020/9/8 (稼働後)	ND	
③			2020/9/8 (稼働後)	ND	
④			2020/9/8 (稼働後)	ND	
設備		重機	ベルコン出口	2020/9/8 (稼働後)	ND
		重機	タイヤショベル①	2020/9/8 (稼働後)	ND
貯蔵エリア(北)	重機	タイヤショベル②	2020/9/8 (稼働後)	ND	
		バックホウ①	2020/9/8 (稼働後)	ND	
		ローラー①	2020/9/8 (稼働後)	ND	
		ブルドーザー①	2020/9/8 (稼働後)	ND	
		バックホウ②	2020/9/8 (稼働後)	ND	
		バックホウ③	2020/9/8 (稼働後)	ND	
		バックホウ④	2020/9/8 (稼働後)	ND	
バックホウ⑤	2020/9/8 (稼働後)	ND			

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年8月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		240
	2020/8/7 (稼働後)		130
上流②	2020/2/24 (稼働前)		110
	2020/8/7 (稼働後)		62
下流①	2018/7/11 (稼働前)		32
	2020/8/7 (稼働後)		110
下流②	2020/2/24 (稼働前)		42
	2020/8/7 (稼働後)		26

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		8.1
	2020/8/7 (稼働後)		9.6
上流②	2020/2/24 (稼働前)		25
	2020/8/7 (稼働後)		10
下流①	2018/7/11 (稼働前)		9.5
	2020/8/7 (稼働後)		6.4
下流②	2020/2/24 (稼働前)		23
	2020/8/7 (稼働後)		8.6

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
集排水設備①	2018/7/11 (稼働前)		ND
	2020/8/7 (稼働後)		ND
集排水設備②	2020/3/5 (稼働前)		ND
	2020/8/7 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	2020/8/6		7.8	1	21

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値		
2020/8/1 ~2020/8/31	37	0.0	4.9	ND	1177

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定地点	測定項目		浮遊物質 (SS) (mg/L)
	測定日		
沈砂池①	2020/8/7		2
沈砂池②	2020/8/7		16

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)			ND	ND
2020/8/7 (稼働後)			ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
	測定日		
貯蔵エリア(北)	2020/8/7 (稼働後)		0.1
浸出水調整設備	2020/8/7 (稼働後)		0.1
浸出水処理設備	2020/8/7 (稼働後)		0.1
処理土壌中継ヤード	2020/8/7 (稼働後)		0.9

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
貯蔵エリア(北)	2020/8/5 (稼働後)		0.35
浸出水調整設備	2020/8/5 (稼働後)		0.27
浸出水処理設備	2020/8/5 (稼働後)		0.10
処理土壌中継ヤード	2020/8/5 (稼働後)		0.26

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
	測定日			
貯蔵エリア(北)	2020/8/5 (稼働後)		ND	ND
浸出水調整設備	2020/8/5 (稼働後)		ND	ND
浸出水処理設備	2020/8/5 (稼働後)		ND	ND
処理土壌中継ヤード	2020/8/5 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>, セシウム137: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

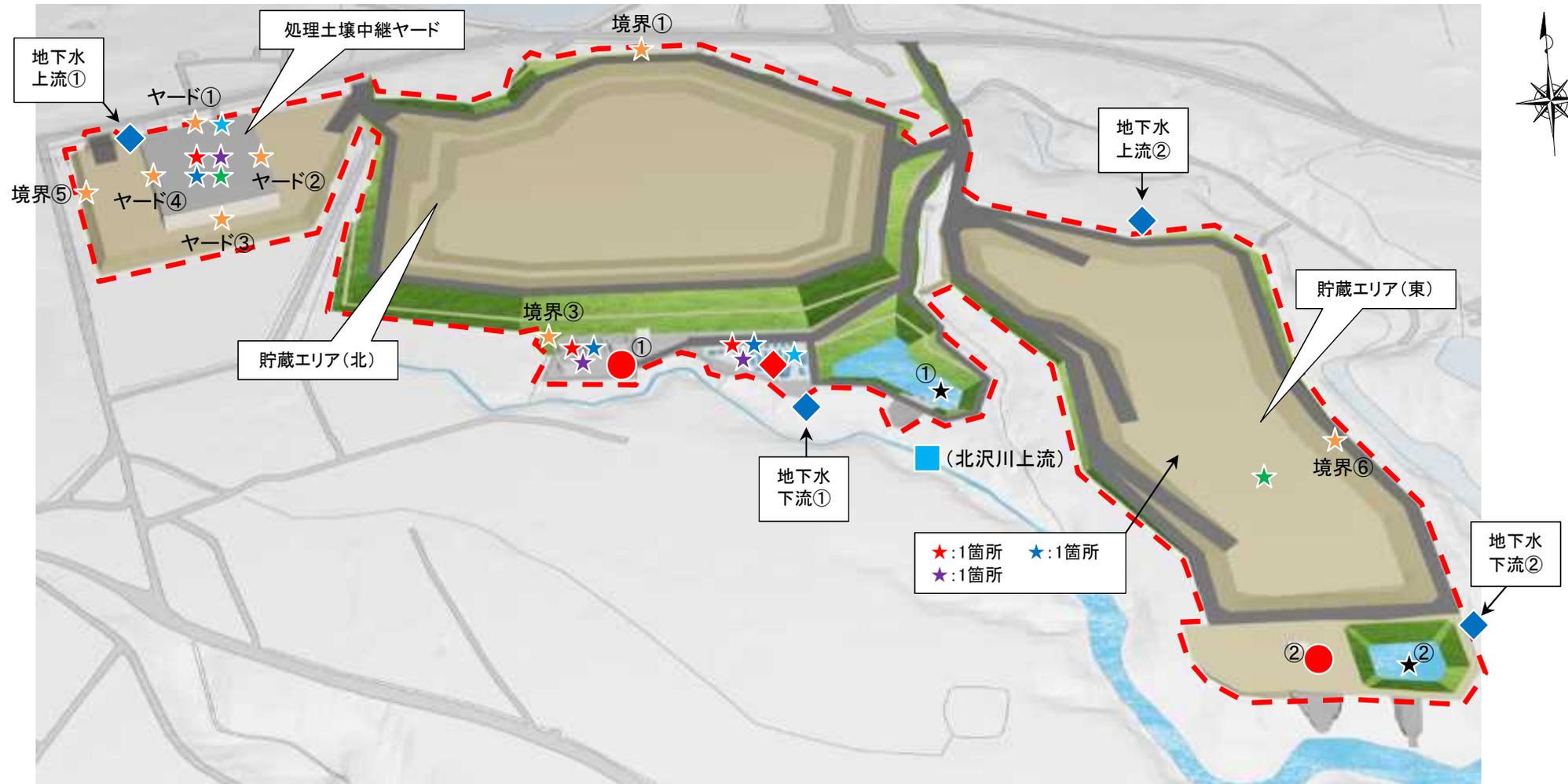
測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
	測定日		
貯蔵施設境界	①	2020/8/20 (稼働後)	ND
	③	2020/8/20 (稼働後)	ND
	⑤	2020/8/20 (稼働後)	ND
	⑥	2020/8/20 (稼働後)	ND
	④	2020/8/20 (稼働後)	ND
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	2020/8/20 (稼働後) ND
	処理土壌中継ヤード	壁	①
②			2020/8/20 (稼働後) ND
③			2020/8/20 (稼働後) ND
④			2020/8/20 (稼働後) ND
貯蔵エリア(北)	設備	ヘルコン出口	2020/8/20 (稼働後) ND
		重機	タイヤシベル①
	重機	バックホウ①	2020/8/20 (稼働後) ND
		ローラー①	2020/8/20 (稼働後) ND
		ブルドーザー①	2020/8/20 (稼働後) ND
		バックホウ②	2020/8/20 (稼働後) ND
		バックホウ③	2020/8/20 (稼働後) ND
		バックホウ④	2020/8/20 (稼働後) ND

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>

# 土壤貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)2020年6月、7月



☆: 施設の位置

【凡例】

- ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量
- ★ : 空間線量率(作業環境)
- ★ : 表面汚染密度(設備)
- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★ : 空気中の放射能濃度
- ★ : 表面汚染密度(重機)
- ◆ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★ : 粉じん濃度
- ★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- 



# 土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年7月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		240
	2020/7/8 (稼働後)		160
上流②	2020/2/24 (稼働前)		110
	2020/7/10 (稼働後)		66
下流①	2018/7/11 (稼働前)		32
	2020/7/8 (稼働後)		120
下流②	2020/2/24 (稼働前)		42
	2020/7/10 (稼働後)		24

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		8.1
	2020/7/8 (稼働後)		8.2
上流②	2020/2/24 (稼働前)		25
	2020/7/10 (稼働後)		9.3
下流①	2018/7/11 (稼働前)		9.5
	2020/7/8 (稼働後)		9.1
下流②	2020/2/24 (稼働前)		23
	2020/7/10 (稼働後)		9.3

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
集排水設備①	2018/7/11 (稼働前)		ND
	2020/7/8 (稼働後)		ND
集排水設備②	2020/3/5 (稼働前)		ND
	2020/7/8 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	2020/7/8		7.6	2.6	20

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値		
2020/7/1 ~2020/7/30	238	0.0	4.9	ND	7494

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定地点	測定項目		浮遊物質 (SS) (mg/L)
	測定日		
沈砂池①	2020/7/8		6
沈砂池②	2020/7/20		10

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)			ND	ND
2020/7/9 (稼働後)			ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
	測定日		
貯蔵エリア(東)	2020/7/10 (稼働後)		ND
浸出水調整設備	2020/7/8 (稼働後)		ND
浸出水処理設備	2020/7/8 (稼働後)		ND
処理土壌中継ヤード	2020/7/10 (稼働後)		0.4

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
貯蔵エリア(東)	2020/7/7 (稼働後)		0.43
浸出水調整設備	2020/7/7 (稼働後)		0.28
浸出水処理設備	2020/7/7 (稼働後)		0.10
処理土壌中継ヤード	2020/7/7 (稼働後)		0.25

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
	測定日			
貯蔵エリア(東)	2020/7/7 (稼働後)		ND	ND
浸出水調整設備	2020/7/7 (稼働後)		ND	ND
浸出水処理設備	2020/7/7 (稼働後)		ND	ND
処理土壌中継ヤード	2020/7/7 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>, セシウム137: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )			
	測定日					
貯蔵施設境界	① ③ ⑤ ⑥	2020/7/9 (稼働後)	ND			
		2020/7/9 (稼働後)	ND			
		2020/7/9 (稼働後)	ND			
		2020/7/9 (稼働後)	ND			
		浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	2020/7/9 (稼働後)	ND
		処理土壌中継ヤード	壁	①	2020/7/9 (稼働後)	ND
②	2020/7/9 (稼働後)			ND		
③	2020/7/9 (稼働後)			ND		
④	2020/7/9 (稼働後)			ND		
貯蔵エリア(東)	重機	ベルコン出口	2020/7/9 (稼働後)	ND		
		タイヤショベル①	2020/7/9 (稼働後)	ND		
		タイヤショベル②	2020/7/9 (稼働後)	ND		
		バックホウ①	2020/7/9 (稼働後)	ND		
		ローラー①	2020/7/9 (稼働後)	ND		
		ブルドーザー①	2020/7/9 (稼働後)	ND		
		バックホウ②	2020/7/9 (稼働後)	ND		
		ブルドーザー②	2020/7/9 (稼働後)	ND		
バックホウ③	2020/7/9 (稼働後)	ND				
バックホウ④	2020/7/9 (稼働後)	ND				

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>

# 土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年6月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		240
	2020/6/16 (稼働後)		140
上流②	2020/2/24 (稼働前)		110
	2020/6/16 (稼働後)		74
下流①	2018/7/11 (稼働前)		32
	2020/6/16 (稼働後)		120
下流②	2020/2/24 (稼働前)		42
	2020/6/16 (稼働後)		33

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		8.1
	2020/6/16 (稼働後)		9.4
上流②	2020/2/24 (稼働前)		25
	2020/6/16 (稼働後)		12
下流①	2018/7/11 (稼働前)		9.5
	2020/6/16 (稼働後)		6.6
下流②	2020/2/24 (稼働前)		23
	2020/6/16 (稼働後)		11

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
集排水設備①	2018/7/11 (稼働前)		ND
	2020/6/16 (稼働後)		ND
集排水設備②	2020/3/5 (稼働前)		ND
	2020/6/16 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	2020/6/17		7.7	2.9	37

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/6/2 ~2020/6/30	55	0.0	4.0	ND	1790

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定地点	測定項目		浮遊物質 (SS) (mg/L)
	測定日		
沈砂池①	2020/6/16		3
沈砂池②	2020/6/16		13

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	2018/7/11 (稼働前)		ND
2020/6/16 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m³)
	測定日		
貯蔵エリア(東)	2020/6/16 (稼働後)		0.1
浸出水調整設備	2020/6/16 (稼働後)		ND
浸出水処理設備	2020/6/16 (稼働後)		ND
処理土壌中継ヤード	2020/6/16 (稼働後)		1.3

定量下限値: 0.1mg/m³, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
貯蔵エリア(東)	2020/6/3 (稼働後)		0.35
浸出水調整設備	2020/6/3 (稼働後)		0.24
浸出水処理設備	2020/6/3 (稼働後)		0.10
処理土壌中継ヤード	2020/6/3 (稼働後)		0.23

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
	測定日			
貯蔵エリア(東)	2020/6/3 (稼働後)		ND	ND
浸出水調整設備	2020/6/3 (稼働後)		ND	ND
浸出水処理設備	2020/6/3 (稼働後)		ND	ND
処理土壌中継ヤード	2020/6/3 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134:  $1.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³, セシウム137:  $1.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ $2 \times 10^{-3}$ +セシウム137の濃度/ $3 \times 10^{-3}$ ≦1

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

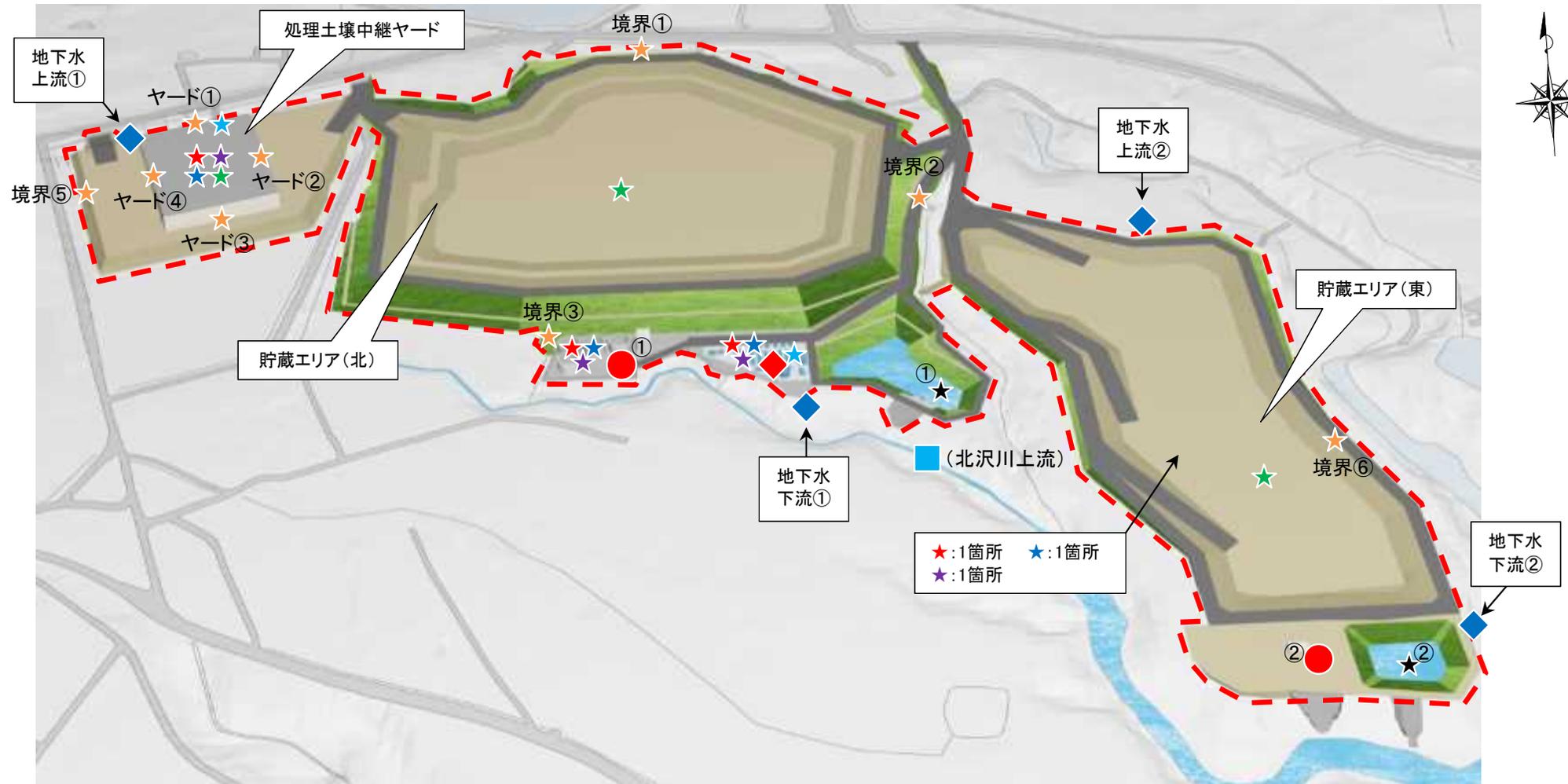
測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm²)		
	測定日				
貯蔵施設境界	①	2020/6/8 (稼働後)	ND		
	③	2020/6/8 (稼働後)	ND		
	⑤	2020/6/8 (稼働後)	ND		
	⑥	2020/6/8 (稼働後)	ND		
	⑥	2020/6/8 (稼働後)	ND		
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	2020/6/8 (稼働後)	ND	
処理土壌中継ヤード	壁	①	2020/6/8 (稼働後)	ND	
		②	2020/6/8 (稼働後)	ND	
		③	2020/6/8 (稼働後)	ND	
		④	2020/6/8 (稼働後)	ND	
	設備	バルコン出口	2020/6/8 (稼働後)	ND	
	重機	タイヤショベル①	2020/6/8 (稼働後)	ND	
		タイヤショベル②	2020/6/8 (稼働後)	ND	
		貯蔵エリア(東)	バックホウ①	2020/6/8 (稼働後)	ND
			ローラー①	2020/6/8 (稼働後)	ND
			ブルドーザー①	2020/6/8 (稼働後)	ND
バックホウ②			2020/6/8 (稼働後)	ND	
ブルドーザー②	2020/6/8 (稼働後)	ND			
バックホウ③	2020/6/8 (稼働後)	ND			
バックホウ④	2020/6/8 (稼働後)	ND			

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壤貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)2020年4月、5月



☆:施設の位置



## 【凡例】

- ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量
- ★ : 空間線量率(作業環境)
- ★ : 表面汚染密度(設備)
- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★ : 空気中の放射能濃度
- ★ : 表面汚染密度(重機)
- ◆ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★ : 粉じん濃度
- ★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
-

# 土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年5月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		240
	2020/5/13 (稼働後)		150
上流②	2020/2/24 (稼働前)		110
	2020/5/12 (稼働後)		78
下流①	2018/7/11 (稼働前)		32
	2020/5/13 (稼働後)		150
下流②	2020/2/24 (稼働前)		42
	2020/5/12 (稼働後)		37

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		8.1
	2020/5/13 (稼働後)		10
上流②	2020/2/24 (稼働前)		25
	2020/5/12 (稼働後)		18
下流①	2018/7/11 (稼働前)		9.5
	2020/5/13 (稼働後)		6.9
下流②	2020/2/24 (稼働前)		23
	2020/5/12 (稼働後)		15

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
集排水設備①	2018/7/11 (稼働前)		ND
	2020/5/12 (稼働後)		ND
集排水設備②	2020/3/5 (稼働前)		ND
	2020/5/12 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	2020/5/12		7.3	2.8	42

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/5/7 ~2020/5/27	112	0.0	4.9	ND	3524

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定地点	測定項目		浮遊物質 (SS) (mg/L)
	測定日		
沈砂池①	2020/5/12		4
沈砂池②	2020/5/12		37

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)			ND	ND
2020/5/12 (稼働後)			ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m³)
	測定日		
貯蔵エリア(東)	2020/5/13 (稼働後)		0.3
浸出水調整設備	2020/5/13 (稼働後)		0.1
浸出水処理設備	2020/5/13 (稼働後)		0.1
処理土壌中継ヤード	2020/5/13 (稼働後)		1.6

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定項目		空間線量率 (µSv/h)
	測定日		
貯蔵エリア(東)	2020/5/13 (稼働後)		0.28
浸出水調整設備	2020/5/13 (稼働後)		0.25
浸出水処理設備	2020/5/13 (稼働後)		0.10
処理土壌中継ヤード	2020/5/13 (稼働後)		0.22

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
	測定日			
貯蔵エリア(東)	2020/5/13 (稼働後)		ND	ND
浸出水調整設備	2020/5/13 (稼働後)		ND	ND
浸出水処理設備	2020/5/13 (稼働後)		ND	ND
処理土壌中継ヤード	2020/5/13 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm³, セシウム137: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm²)	
	測定日			
貯蔵施設境界	①	2020/5/12 (稼働後)	ND	
	②	2020/5/12 (稼働後)	ND	
	③	2020/5/12 (稼働後)	ND	
	⑤	2020/5/12 (稼働後)	ND	
	⑥	2020/5/12 (稼働後)	ND	
	浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	2020/5/12 (稼働後)
処理土壌中継ヤード	壁	①	2020/5/12 (稼働後)	ND
		②	2020/5/12 (稼働後)	ND
		③	2020/5/12 (稼働後)	ND
		④	2020/5/12 (稼働後)	ND
	重機	ベルコン出口	2020/5/12 (稼働後)	ND
		タイヤショベル①	2020/5/12 (稼働後)	ND
		タイヤショベル②	2020/5/12 (稼働後)	ND
		バックホウ①	2020/5/12 (稼働後)	ND
貯蔵エリア(東)	重機	ローラー①	2020/5/12 (稼働後)	ND
		ブルドーザー①	2020/5/12 (稼働後)	ND
		バックホウ②	2020/5/12 (稼働後)	ND
		ブルドーザー②	2020/5/12 (稼働後)	ND
		バックホウ③	2020/5/12 (稼働後)	ND
		バックホウ④	2020/5/12 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年4月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		240
	2020/4/15 (稼働後)		130
上流②	2020/2/24 (稼働前)		110
	2020/4/14 (稼働後)		71
下流①	2018/7/11 (稼働前)		32
	2020/4/15 (稼働後)		150
下流②	2020/2/24 (稼働前)		42
	2020/4/14 (稼働後)		36

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流①	2018/7/11 (稼働前)		8.1
	2020/4/15 (稼働後)		8.5
上流②	2020/2/24 (稼働前)		25
	2020/4/14 (稼働後)		9.1
下流①	2018/7/11 (稼働前)		9.5
	2020/4/15 (稼働後)		6.8
下流②	2020/2/24 (稼働前)		23
	2020/4/14 (稼働後)		18

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
集排水設備①	2018/7/11 (稼働前)		ND
	2020/4/14 (稼働後)		ND
集排水設備②	2020/3/5 (稼働前)		ND
	2020/4/14 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	2020/4/14		7.8	4	25

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/4/1 ~2020/4/28	125	0.0	4.9	ND	3976

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定地点	測定項目		浮遊物質 (SS) (mg/L)
	測定日		
沈砂池①	2020/4/14		24
沈砂池②	2020/4/28		35

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	2018/7/11 (稼働前)		ND
2020/4/14 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m³)
	測定日		
貯蔵エリア(東)	2020/4/16 (稼働後)		ND
浸出水調整設備	2020/4/16 (稼働後)		ND
浸出水処理設備	2020/4/16 (稼働後)		ND
処理土壌中継ヤード	2020/4/16 (稼働後)		0.2

定量下限値: 0.1mg/m³, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定項目		空間線量率 (µSv/h)
	測定日		
貯蔵エリア(東)	2020/4/2 (稼働後)		0.29
浸出水調整設備	2020/4/2 (稼働後)		0.27
浸出水処理設備	2020/4/2 (稼働後)		0.11
処理土壌中継ヤード	2020/4/2 (稼働後)		0.23

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
	測定日			
貯蔵エリア(東)	2020/4/2 (稼働後)		ND	ND
浸出水調整設備	2020/4/2 (稼働後)		ND	ND
浸出水処理設備	2020/4/2 (稼働後)		ND	ND
処理土壌中継ヤード	2020/4/2 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm³, セシウム137: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm²)
	測定日		
貯蔵施設境界	①	2020/4/4 (稼働後)	ND
	②	2020/4/4 (稼働後)	ND
	③	2020/4/4 (稼働後)	ND
	⑤	2020/4/4 (稼働後)	ND
	⑥	2020/4/4 (稼働後)	ND
	浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機
処理土壌中継ヤード	壁	①	2020/4/4 (稼働後) ND
		②	2020/4/4 (稼働後) ND
		③	2020/4/4 (稼働後) ND
		④	2020/4/4 (稼働後) ND
	重機	ベルコン出口	2020/4/4 (稼働後) ND
		タイヤショベル①	2020/4/4 (稼働後) ND
		タイヤショベル②	2020/4/4 (稼働後) ND
		バックホウ③	2020/4/4 (稼働後) ND
貯蔵エリア(北)	重機	ブルドーザー②	2020/4/4 (稼働後) ND
貯蔵エリア(東)	重機	バックホウ④	2020/4/4 (稼働後) ND
		ローラー①	2020/4/4 (稼働後) ND
		ブルドーザー①	2020/4/4 (稼働後) ND
		バックホウ②	2020/4/4 (稼働後) ND
		バックホウ④	2020/4/4 (稼働後) ND
		バックホウ④	2020/4/4 (稼働後) ND

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²